

総合病院
水島協同病院
倉敷市水島南春日町1-1
代表 086-444-3211
外來 086-444-1222



日本医療機能評価機構
「信頼の病院」マーク
ISO9001 認証取得

水島協同病院 だより

No. 345
2023. 4月号



水協のホームページもご覧ください

<http://www.mizukyo.jp>

〔病院理念〕 いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。



て率直な意見交換が行われ、コロナ感染や疑いでの受診の際に、介護タクシーが利用できず、移動手段の確保に苦慮した”

1月30日に、水島地区ケアマネ交流会が開催され、当院も参加しました。今回のテーマ『コロナ禍における連携について』の中で、当院から3階北病棟の高田看護師長が講演を行い、グループワーク等がありました。講演では、コロナ感染患者さんの受け入れの様子や課題の報告がありました。グループワークでは、コロナ禍における支援の実際と連携における課題について

などの声がありました。病院が課題とすることも伝えながら、自宅での生活支援をするケアマネージャーさんと対面で話ができ、コロナ禍での在宅生活を支援する困難さも知ることができました。今回の交流会を通じ、入院と在宅でのそれぞれの課題を共有し、患者さんが安心して生活できる支援の大切さを改めて学びました。(医療福祉相談室 八谷尋子)



写真右上が高田師長 対面で話に熱がはいります

水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています



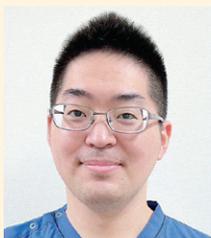
土肥悠暉

2年間の研修では多くのことを教えていただきました。診察や治療に関する知識だけでなく、患者さんへの接し方や社会人としての心得など、教科書だけでは勉強できないことを学ぶことができました。このような充実した初期研修がおくれたのは、私に関わってくださった皆さんのおかげです。今後、私は整形外科の道に進みますが、水島協同病院で学んだことを糧に頑張っていきたいと思えます。2年間本当にありがとうございました。

医師臨床研修センター 初期研修2年を終えてのお礼とこれからのについて

土肥悠暉研修医 & 延藤大樹研修医

早いもので水協に来てから2年経ちました。初めて訪れた時にはあっちもこっちも他人行儀な顔をしていた病院ですが、今は何処を歩いていても見知った顔を見せてくれます。職員の方には沢山ご迷惑をかけましたが、お陰様で少しずつ皆さんと仲良くなり、少しでも自分自身は成長できたかなと思います。病棟や外来で診た患者さんがワクワクの予診や廊下でお会いした時に声をかけてくださって嬉しかったのをよく覚えています。大き過ぎず、皆さんの顔をすぐに思い浮かべることができる温かい水協が大好きでした。ありがとうございました。



延藤大樹

連載 みずきょうの診察室から

体への負担を軽減した 内視鏡治療をおこなっています

院長 **山本 明広** 医師

当院では、消化器分野で川崎医科大学から専門的な医療を行うための医師支援を受けています。昨年の実績はERCP 47件、EUS（超音波内視鏡）7件、アンギオ治療（血管造影検査）4件でした。今回はERCPについて紹介します。

ERCPは、内視鏡で総胆管や膵管を造影する検査です。最も多いのは、総胆管結石の時、結石除去を行うもので、十二指腸乳頭部を切開して、バルーンカテーテルで結石を除去する治療です。翌日から食事可能で3日後には退院可能です。胆のう結石がある場

合は、後に腹腔鏡下胆のう摘出術を行います。

また、胆管がんや膵臓がんのために胆管が閉塞して黄疸がある場合の治療も行っており、その場合は、胆管に力バ1付き金属ステントを留置しています。処置後は速やかに肝機能が改善して黄疸は消失してゆきます。外科手術と比べて体への負担が少なく、90歳以上と高齢の方でもうづがせになれる方なら治療可能です。毎週火曜日に治療を行っています。